

印刷年月日:2026年07月11日
初版年月日:1993年03月23日
改版年月日:2025年12月03日

安全データシート

SDS No. 26610

1.化学品及び会社情報

化学品の名称:	クリダイン SP
供給者の会社名称:	栗田工業株式会社
住 所:	東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
担当部門:	品 質 保 証 部
電話番号:	03-6743-5020
メールアドレス:	kwi_chemisds@kurita-water.com
記載内容問合せ先:	末尾記載の「問合せ先」にご連絡ください。
緊急連絡先:	株式会社中村商会
緊急連絡先電話番号:	045-303-6361
推奨用途:	硬度スケール洗浄用酸性洗浄剤

2.危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
健康に対する有害性	
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2／2A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分3
GHSラベル要素 絵表示	
	
注意喚起語 危険有害性情報	危険 皮膚刺激 強い眼刺激 臓器の障害 水生生物に有害
注意書き 安全対策	保護眼鏡、保護面を着用すること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。
応急措置	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 このラベルの指示に従った特別処置が緊急に必要な場合。 眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合には外すこと。 取り扱った後、手を洗うこと。 ばく露した場合: 医師に連絡すること。
保管 廃棄	確実に保管すること。紛失・盗難に気をつけること。 都道府県の認可を受けた廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:	混合物		
化学名又は一般名	化学式		含有量(%)
硫酸ナトリウム	Na2SO4		10～20
スルファミン酸	HOSO2NH2		80～90
ノニオン系界面活性剤	非開示		非開示
化学名又は一般名	化審法番号	CAS No.	安衛法番号
硫酸ナトリウム	1-501	7757-82-6	
スルファミン酸	1-402	5329-14-6	
ノニオン系界面活性剤	非開示	非開示	

4.応急措置

◆情報◆

吸入した場合

粉塵やミストを吸入すると気道の刺激～肺炎にいたる危険性がある。
空気の新鮮な場所に移し、安静・保温につとめ、速やかに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合

酸性であり皮膚に付くと炎症を起こすことがある。
触れた部位を、多量の水で洗い流す。
汚染した衣服は直ちに脱ぎ、衣服と皮膚に付着した薬品を、多量の水で洗い流す。

眼に入った場合

炎症、痛みなどが残れば、医師の手当を受ける。
眼に入ると粘膜が刺激され、視力低下や失明のおそれがある。
直ちに、流水で15分以上洗眼し、その後必ず医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合

口・のど・胃を刺激し、嘔吐・腹痛・下痢などを起こすことがある。
直ちに、口・のどを水で洗い、コップ4～5杯の牛乳・卵白・寒天液又は水を飲ませ（この時無理に吐かせない）、その後直ちに医師の手当を受ける。

5.火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
特有の消火方法

水、粉末消火剤、二酸化炭素
情報なし
引火点はなく、自然性はないが、周辺火災の場合は、火元から遠ざけるか、梱包材が燃えないよう消火剤で処置する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

項目7および8を参考に、適切な保護具を着用すること。
海・河川等への排出による環境への放出を避けること。
危険でなければ漏れを止める。少量の場合、ウエス・雑巾等でよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。
漏出時の措置
大量に漏洩した場合は、掃き集めたり、真空掃除機で吸い取るなど、粉塵が飛散しない方法で回収する。
少量の漏洩の場合はウエスで拭き取り、水で洗い流す。

7.取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

吸い込んだり、眼・皮膚に触れないように、保護マスク・保護眼鏡・長袖の作業衣・ゴム手袋等を着用して作業すること。
使用済みの容器を飲料用、その他の用途に使用しないこと。
アルカリとの混合を避けること。

技術的対策
安全取扱注意事項
接触回避

情報なし
情報なし
情報なし

【保管】
安全な保管条件
安全な容器包装材料

使用時以外は直射日光を避け、換気のある冷暗所に密閉保管する。
情報なし
情報なし

8.ばく露防止及び保護措置

許容濃度
管理濃度
設備対策

設定されていない
設定されていない
特になし

保護具
呼吸用保護具

保護マスク(防じんマスク)
換気が十分でない場合には、事業所の保護具着用管理責任者の指示により適切な呼吸用の保護具を着用すること。
※防じんマスクは飛沫の吸引防止が目的です。
ポリ塩化ビニール製あるいは合成ゴム製の手袋着用
保護眼鏡／又は保護面着用
長袖の作業衣着用

手の保護具
眼及び／又は顔面の保護具
皮膚及び身体の保護具

9.物理的及び化学的性質

物理状態
色

粉末
白色～淡褐色

臭い	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び上限界／可燃限界	上限界: データなし 下限界: データなし
引火点	なし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	0.9～1.9 (1%溶液、20℃)
動粘性率	データなし
粘度	データなし
溶解度	水: 約25g/100mL (20℃)
n-オクタノール／水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度(比重)	比重: 1.15～1.35 (嵩比重、ルーズ) (参考値)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
CODMn量	0.4%以下(参考値)
全窒素含有量(T-N) %	15以下(参考値)
全リン含有量(T-P) %	0.1以下(参考値)

10.安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	情報なし
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11.有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	皮膚に付くと炎症を起こすことがある。スルファミン酸の厚生労働省の分類データにより(GHS分類)区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	眼に入ると粘膜が刺激され、視力低下や失明のおそれがある。スルファミン酸の厚生労働省の分類データにより(GHS分類)区分2Aとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	無機塩の厚生労働省の分類データにより(GHS分類)区分1とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし
その他の有害性	エイムズ試験: 陰性(成分からの推定)

12.環境影響情報

生態毒性	LC50: ヒメダカ(24)時間: 40mg/L(推定値)より(GHS分類)区分3となる。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
その他	酸の成分のため、製品として100mg/L以上で、稲に影響が出るという情報がある。(黄化、褐色の斑点)

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	本薬品を廃棄する場合は、必ず産業廃棄物処理業者に委託するものとし、地表への廃棄、埋立て、河川や下水道への放流はしないで下さい。
汚染容器及び包装	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。
その他	洗浄廃液は、直接排水溝には絶対流さないこと。 アルカリで中和し大量の水で希釈して排水規制値以内に処理し、放流するかまたは、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。 稲枯れの原因になるので、中和したものでも河川に排出しないこと。

14.輸送上の注意

国連分類・国連番号
その他

国連分類:クラス8 国連番号:2967
容器が破損しないようにし、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。

15.適用法令

消防法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
化学兵器禁止法	該当なし
輸出入貿易管理令	該当なし
労働安全衛生法 スルファミン酸 質)	該当あり 規則 第24条の15 特定危険有害化学物質等(製品のGHS分類の危険有害性に影響を与えた化学物 法 第57条の2 通知対象物(2025年4月1日以降) 法 第57条 名称等を表示すべき有害物(2025年4月1日以降) 法 第57条 名称等を表示すべき有害物(2026年4月1日以降) 法 第57条の2 通知対象物(2026年4月1日以降)
硫酸ナトリウム 硫酸ナトリウム スルファミン酸 スルファミン酸	
船舶安全法	該当なし
航空法	該当なし
港則法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当なし

16.その他の情報

記載内容は、本シート作成時に入手可能な資料、情報、データに基づいておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証を成すものではありません。
この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
本シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

以上

*記載内容問合せ先
本社 03-6743-5000
大阪支社 06-7638-1226
仙台営業所 022-225-6331
名古屋営業所 052-203-2851
広島営業所 082-221-4473
福岡営業所 092-472-0911